

未来を拓く科学大好き教育 通信

郷土博物館 特別研究員

指導課 特別指導員

岩波 英一

「理科室のおじさん」を訪ねて

その13 日立市立河原子小学校



河原子小の「理科室のおじさん」伊藤喬章さんを訪問しました。訪問時間が中間休みの頃だったので、理科室には、子どもたちがたくさん集まっていました。この日は、小雨で外遊びを避け、理科室でできるゲームをしようと一年生を中心に伊藤さんの周りを囲んでいました。日頃から伊藤さんは、子どもたちのために、興味・関心のある飛行機や車などの模型や簡単なゲームができるものを準備し、子どもたちと楽しい時間を共有しているそうです。今回は、空気鉄砲がたくさん出ていました。一年生の子どもたちは、透明の亚克力パイプにスポンジの玉を前と後ろに入れ、思いっきりピストン棒を押し入れて、スポンジ玉を飛ばしていました。一つの玉では飛びません。試行錯誤しながら、その仕組みを理解していつているようです。遊びの中から

得た知識は、きっと、実際の学習の中で生かされるのではないのでしょうか。

伊藤さんは、東京の葛飾亀有で生まれ、幼少の時に秋田に疎開し、小・中・高は青森県三沢市で過ごしました。電気科を卒業し、日製水戸工場に27年、その後、日製系列の新明和工業に定年まで勤務し、その間にたくさんの資格を取得し、定年後も、その資格を生かした職種に就いていたということです。水戸工場では、車両設計部に属し、車両の機構設計に従事し、さらには、エレベーター設計部に転属し、特殊エレベーターの開発設計や工事用エレベーター開発などにかかわったということです。定年後、日立市内に勤務している中で、日立理科クラブの存在を知りました。自分でも何か子どもたちの役に立てないかという動機で、昨年からは、河原子小でボランティアをしています。「子どもたちの笑顔に囲まれ、子どもたちと過ごしている時間が、とても満足で、楽しい生きがいとなっています。」と、にこやかな表情で話していました。理科室の整理・整頓はもちろん、科学クラブの活動にも積極的ににかかわり、楽しく・面白い科学の不思議を追究することに一生懸命な様子を伺うことができました。とてもありがたいことです。



の専門誌に河原子小の「電鍵」が掲載されました。

今、科学クラブで予定している、綿あめ作りの簡単な装置をたくさん準備していました。きっと、面白い活動になるのではないかと思います。

— 問い合わせ先 —

TEL 0294(23)3231 FAX 0294(23)3230

IP 電話 050(5528)4928 内線電話 8954

E-mail:hakubutsukan1@city.hitachi.lg.jp

日立市郷土博物館 岩波 英一